

平成30年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成29年11月9日

上場会社名 株式会社 エストアー
 コード番号 4304 URL <http://Estore.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役
 四半期報告書提出予定日 平成29年11月10日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 石村 賢一
 (氏名) 柳田 要一

上場取引所 東
 TEL 03-3595-1106

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第2四半期の業績(平成29年4月1日～平成29年9月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第2四半期	2,451	6.1	230	7.5	229	9.8	156	9.6
29年3月期第2四半期	2,310	—	214	—	208	—	142	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第2四半期	30.33	—
29年3月期第2四半期	27.67	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第2四半期	3,421	1,209	35.3
29年3月期	3,492	1,173	33.6

(参考)自己資本 30年3月期第2四半期 1,209百万円 29年3月期 1,173百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	0.00	—	24.00	24.00
30年3月期	—	0.00			

(注) 当社は定款において、第2四半期末日及び期末日を配当基準日と定めていますが、現時点では平成30年3月期の配当予想額は未定です。

3. 平成30年3月期の業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
通期	4,990	4.5	403	△1.0	397	△1.1	274	△3.8

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無
 当社は年次での業績管理を行っているため、通期のみの開示としております。

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

30年3月期2Q	10,327,200 株	29年3月期	10,327,200 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

30年3月期2Q	5,165,902 株	29年3月期	5,165,902 株
----------	-------------	--------	-------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

30年3月期2Q	5,161,298 株	29年3月期2Q	5,161,303 株
----------	-------------	----------	-------------

※四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されており業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項は、添付資料5ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	5
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	5
2. 四半期財務諸表及び主な注記	6
(1) 四半期貸借対照表	6
(2) 四半期損益計算書	8
第2四半期累計期間	8
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間における売上高は 2,451,732 千円（対前年同期間比 6.1%増）、営業利益は 230,418 千円（同 7.5%増）、経常利益は 229,231 千円（同 9.8%増）、四半期純利益は 156,543 千円（同 9.6%増）となりました。この概況としましては、（1）販売システム事業はひきつづき件数で低下、ただし新規の単価や流通額は増。（2）戦略的にシフトしてきた販促サービス事業が続伸、ただし利益率は低い。（3）加えて販促システム事業が開始された期となっています。以下にサービス別に説明いたします。

ページ制作や宣伝広告のアウトソーシングを受託するマーケティングサービス事業は売上高で、514,555 千円（同 46.5%増）と伸長し、通期で 10 億円台に乗る見通しとなりました。しかし属人的な生産性である事と、採用もひきつづき強化している事から、単体では未だ赤字です。なおこれは 4 年ほど前より本格稼働を開始したサービスです。

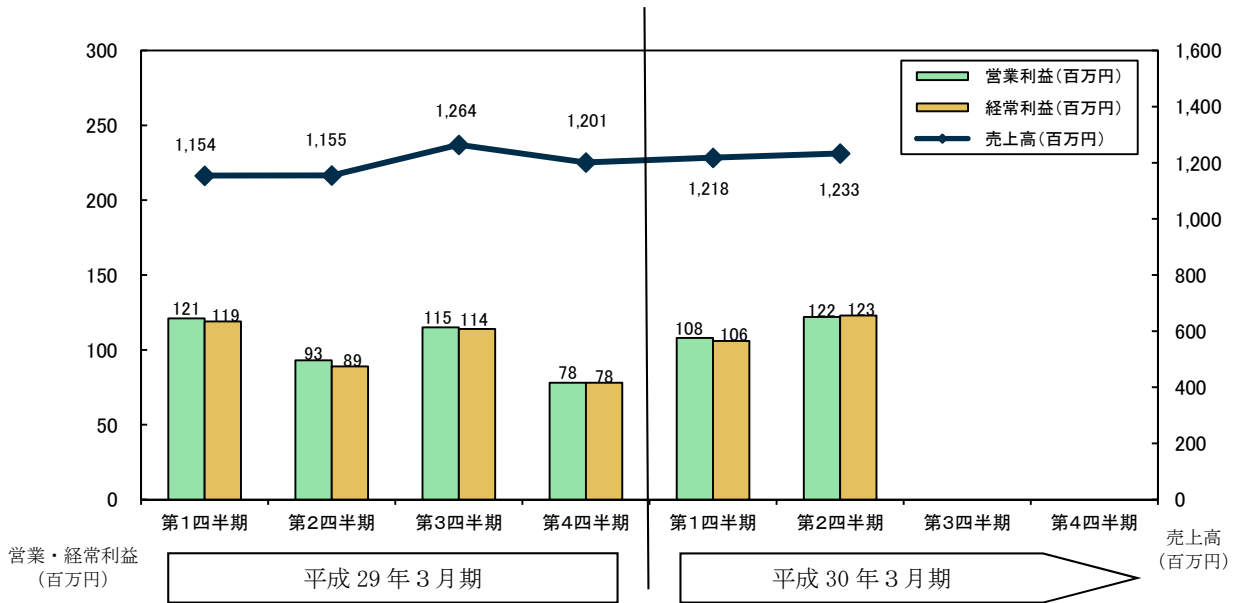
次の収益ブロックを目指したマーケティングシステム事業（名称バックストアー（群））として、7月から9月にかけて、ABテストの「Eストアーコンペア」とメールCRMの「Eストアークエリー」をリリースしました。売上と利益への貢献は、暫く先となる計画です。コスト面ではシステムと人件費などで1年以上の開発投下をしてきましたが、立ち上げ時期につき、今後も強化継続します。

販売システム事業（名称ショップサーブ）については、既報のとおり、とうに過当競争市場にはいつている事から、前述の対応をしているとともに、機能面や営業面でモールとのコンフリクトを避けた動きを取ってきました。この結果、顧客店舗数は継続的に減少していて、ストック売上（月間固定料金）は 944,275 千円（同 5.1%減）となりました。しかし受注単価増を主とした営業面の効果により、フロウ売上（商規模連動料金）は、975,893 千円（同 4.8%増）となりました。

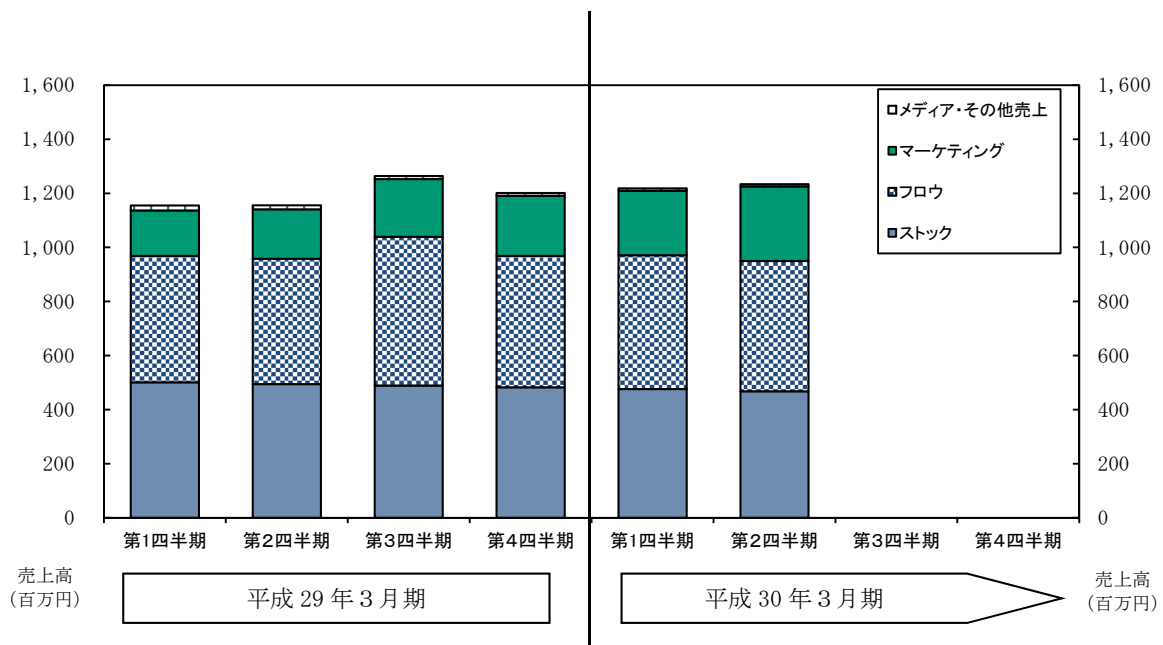
メディア事業（名称パーク）については、既報のとおり注力から外していますが、これを含んでその他売上は、17,007 千円（同 47.3%減）となっています。

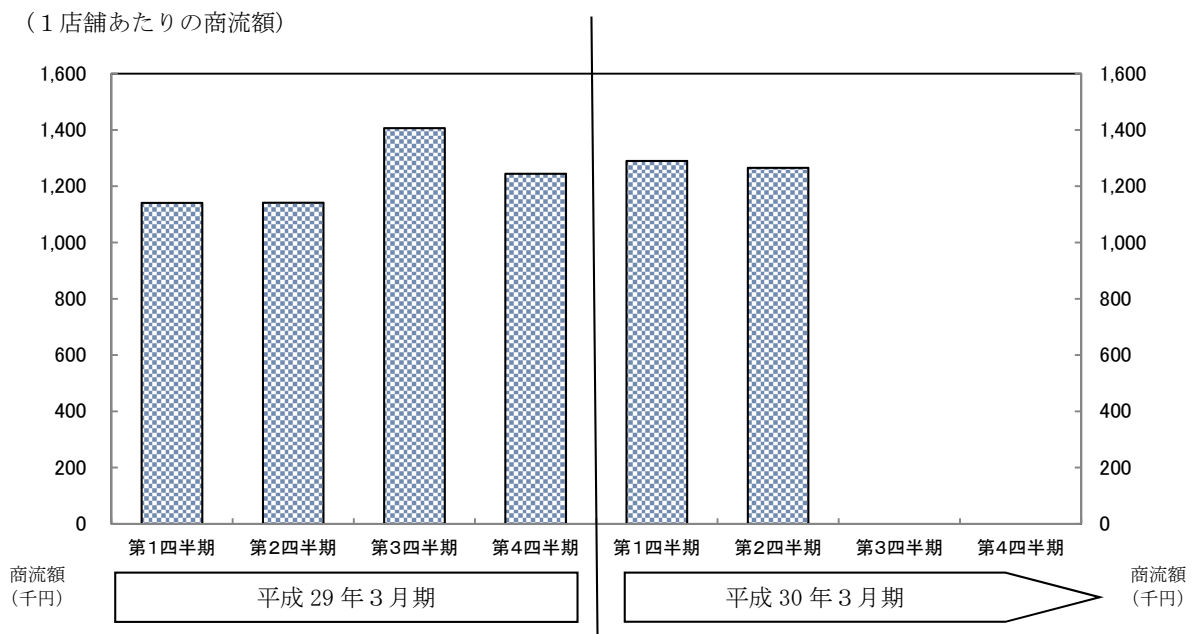
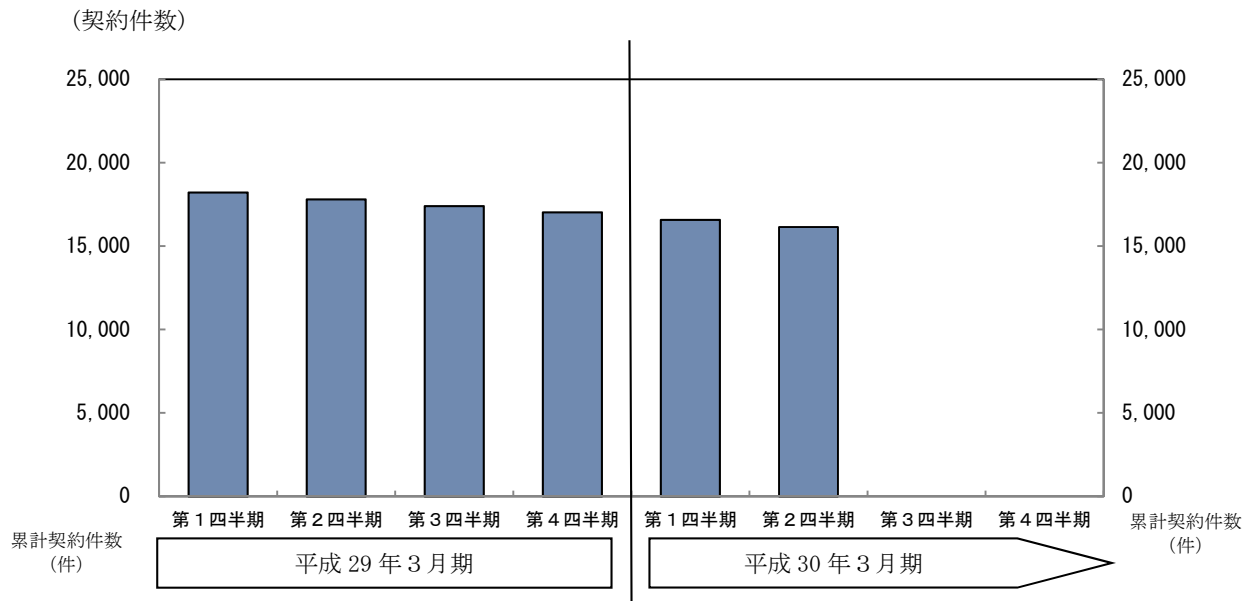
今後につきましては、今期ひきつづき次世代への投資を強化している事について、積極的に継続して参ります。

(売上・利益の四半期推移)



(売上種別)





(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期会計期間末における総資産は、3,421,492千円となりました。

当第2四半期会計期間末における財政状態は次のとおりです。

(資産)

当第2四半期会計期間末における資産の残高は、前事業年度末比で70,917千円減少し、3,421,492千円となりました。これは主に、現金及び預金の減少64,614千円によるものです。

(負債)

当第2四半期会計期間末における負債の残高は、前事業年度末比で107,205千円減少し、2,212,025千円となりました。これは主に、買掛金の増加19,092千円、預り金の減少135,460千円によるものです。

(純資産)

当第2四半期会計期間末における純資産の残高は、前事業年度末比で36,288千円増加し、1,209,466千円となりました。これは、平成29年3月期の配当金支払123,871千円があったものの、四半期純利益として、156,543千円を計上したことによります。これにより自己資本比率は35.3%(前事業年度末比1.7ポイント増)となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期累計期間における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)の四半期末残高は、2,248,007千円となりました。当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローは次のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間における営業活動による資金の増加は、122,282千円(前年同四半期は97,358千円の増加)となりました。主な増加要因は、税引前四半期純利益229,231千円、減価償却費43,831千円であり、減少要因は、預り金の減少135,460千円によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間における投資活動による資金の減少は、62,676千円(前年同四半期は30,406千円の減少)となりました。主な減少要因は、ソフトウェア開発に伴う無形固定資産の取得による支出7,840千円、サーバ等の購入に伴う有形固定資産の取得による支出58,331千円によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間における財務活動による資金の減少は、124,114千円(前年同四半期は448,863千円の減少)となりました。主な減少要因は、配当金の支払額123,537千円によるものです。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年5月11日付「平成29年3月期 決算短信〔日本基準〕(非連結)」で公表いたしました業績予想に変更はありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成29年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,312,622	2,248,007
売掛金	575,929	596,457
貯蔵品	9,058	14,050
その他	117,571	122,010
貸倒引当金	△3,131	△3,247
流動資産合計	3,012,050	2,977,279
固定資産		
有形固定資産		
工具、器具及び備品(純額)	96,830	83,495
その他(純額)	32,380	30,239
有形固定資産合計	129,211	113,735
無形固定資産	103,606	91,218
投資その他の資産		
投資有価証券	72,020	71,901
敷金	132,410	132,410
貸倒引当金	△4,483	△4,483
その他	47,593	39,429
投資その他の資産合計	247,541	239,258
固定資産合計	480,358	444,212
資産合計	3,492,409	3,421,492
負債の部		
流動負債		
買掛金	190,581	209,673
未払金	123,658	69,803
未払法人税等	31,193	76,296
預り金	1,740,309	1,604,849
賞与引当金	90,618	85,905
その他	120,299	143,382
流動負債合計	2,296,660	2,189,911
固定負債		
資産除去債務	20,743	20,864
リース債務	1,826	1,249
固定負債合計	22,569	22,113
負債合計	2,319,230	2,212,025

(単位：千円)

	前事業年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成29年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	523,328	523,328
資本剰余金	539,461	539,461
利益剰余金	2,921,470	2,954,142
自己株式	△2,810,314	△2,810,314
株主資本合計	1,173,945	1,206,618
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△767	2,848
評価・換算差額等合計	△767	2,848
純資産合計	1,173,178	1,209,466
負債純資産合計	3,492,409	3,421,492

(2) 四半期損益計算書
(第2四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
売上高	2,310,212	2,451,732
売上原価	1,528,257	1,743,273
売上総利益	781,954	708,458
販売費及び一般管理費	567,677	478,040
営業利益	214,277	230,418
営業外収益		
受取利息	85	106
為替差益	28	—
未払配当金除斥益	310	580
投資有価証券売却益	—	1,434
雑収入	16	482
営業外収益合計	440	2,603
営業外費用		
支払利息	374	—
投資有価証券償還損	588	—
投資有価証券売却損	—	3,627
子会社清算損	436	—
為替差損	—	106
貸倒引当金繰入額	4,483	—
雑損失	29	56
営業外費用合計	5,913	3,790
経常利益	208,804	229,231
税引前四半期純利益	208,804	229,231
法人税、住民税及び事業税	72,041	66,327
法人税等調整額	△6,060	6,359
法人税等合計	65,981	72,687
四半期純利益	142,822	156,543

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	208,804	229,231
減価償却費	42,061	43,831
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	4,356	115
賞与引当金の増減額 (△は減少)	8,201	△4,713
受取利息及び受取配当金	△85	△106
支払利息	374	—
為替差損益 (△は益)	△28	106
未払配当金除斥益	—	△580
自己株式取得費用	△55	—
投資有価証券償還損益 (△は益)	588	—
投資有価証券売却損益 (△は益)	—	2,193
子会社清算損益 (△は益)	436	—
売上債権の増減額 (△は増加)	22,200	△17,289
仕入債務の増減額 (△は減少)	△13,072	19,689
未払金の増減額 (△は減少)	△11,437	△3,651
預り金の増減額 (△は減少)	△45,538	△135,460
その他の資産の増減額 (△は増加)	△18,901	△10,179
その他の負債の増減額 (△は減少)	△7,008	18,982
小計	190,898	142,169
利息及び配当金の受取額	86	106
利息の支払額	△374	—
法人税等の支払額	△93,251	△19,993
営業活動によるキャッシュ・フロー	97,358	122,282
投資活動によるキャッシュ・フロー		
貸付金の回収による収入	3,337	3,495
有形固定資産の取得による支出	△24,072	△58,331
無形固定資産の取得による支出	△21,548	△7,840
投資有価証券の償還による収入	9,726	—
子会社の清算による収入	5,562	—
敷金の差入による支出	△3,412	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△30,406	△62,676
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△300,000	—
長期借入金の返済による支出	△24,780	—
リース債務の返済による支出	△576	△576
配当金の支払額	△123,507	△123,537
財務活動によるキャッシュ・フロー	△448,863	△124,114
現金及び現金同等物に係る換算差額	28	△106
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△381,883	△64,614
現金及び現金同等物の期首残高	2,385,026	2,312,622
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,003,143	2,248,007

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社は、単一セグメントであるため、記載を省略しております。